

KTQ-GX
Challenge 2050

北九州GX推進コンソーシアム の設立など脱炭素化に向けた動向

(公財)北九州産業学術推進機構(FAIS)

2024年6月3日

@脱炭素未来研究シンポジウム

by FAIS理事長・松永守央

令和5年10月27日 「ひびきのサロン」～GXシンポジウム



GREEN TRANSFORMATION GX 第207回産学交流サロン「ひびきのサロン」～GXシンポジウム

参加無料

気候変動対策に係る国内外の最新動向と企業の取組
～北九州地域におけるGX推進の枠組み構築に向けて～

2023. **10.27** (金) 13:10～17:20

会場 北九州学術研究都市 学術情報センター 1F 遠隔講義室1 (北九州市若松区ひびきの1-3)

定員 講演：150名 交流会：40名 (※先着順)

気候変動問題に係る政策面・科学面の第一人者である東京大学未来ビジョン研究センターの高村・江守両教授やトヨタ自動車九州の弥永さまをお招きし、脱炭素・GX（グリーンランスフォーメーション）に関する最新の知見についてご講演いただき、重要な示唆を与えていただくとともに、北九州発のGX推進のポテンシャル、必要性について紹介したいと思います。

プログラム

13:10～13:15 開会挨拶 (公財)北九州産業学術推進機構 理事長 松永 守夫

講演 1 13:15～14:25 「2050年カーボンニュートラルに向かう世界 - [変化] の中の地域と再生可能エネルギー」
高村 ゆかり 氏
東京大学 未来ビジョン研究センター 教授、環境省 中央環境審議会 会長

講演 2 14:30～15:40 「気候危機の現状と見通し」
江守 正多 氏
国立環境研究所 地球システム領域 上級主席研究員、東京大学 未来ビジョン研究センター 教授 (ロイス・イットスト)

講演 3 15:50～16:50 「トヨタ自動車九州カーボンニュートラルへの取組について」
弥永 明彦 氏
トヨタ自動車九州株式会社 環境プラント部 部長 兼 次世代事業室 室長

16:50～17:15 「北九州地域におけるGX推進の枠組み構築に向けて」
片山 憲一 氏
北九州市 副市長
江副 春之 氏
(公財)北九州産業学術推進機構 専務理事

17:15～17:20 閉会挨拶 (公財)北九州産業学術推進機構 専務理事 江副 春之

17:30～18:30 交流会 ■会場/産学連携センター1F「HIBIKINO ODORIVA」(旧展示ルーム)
■会費/一般：1,000円、学生：500円 ※ひびきの会員は無料

◆主催：北九州市、(公財)北九州産業学術推進機構<FAIS>

お問い合わせ先 (公財)北九州産業学術推進機構<FAIS>
グリーンイノベーション推進本部 産学連携センター
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2年1号
TEL：(093) 695-3006 FAX：(093) 695-3018
URL：https://www.kstp.or.jp/faais/index.html

お申込み 右のQRコードもしくは裏面FAXにてお申込みください
産学連携センター 検索

令和5年12月12日 「北九州GX推進コンソーシアム」創設

産学官金が一体となって
北九州市のGXを推進する体制を構築

役職等	名称等
会長	北九州市長
副会長	北九州商工会議所会頭、北九州産業学術推進機構理事長
産	北九州商工会議所、北九州中小企業団体連合会 GXの知見を持つ企業、GXを推進する企業
学	北九州市立大学、九州工業大学、早稲田大学、福岡大学 北九州工業高等専門学校、地球環境戦略研究機関(IGES)
官	経済産業省、環境省、福岡県、北九州市 北九州産業学術推進機構(FAIS) 【事務局】北九州市、FAIS
金	金融機関

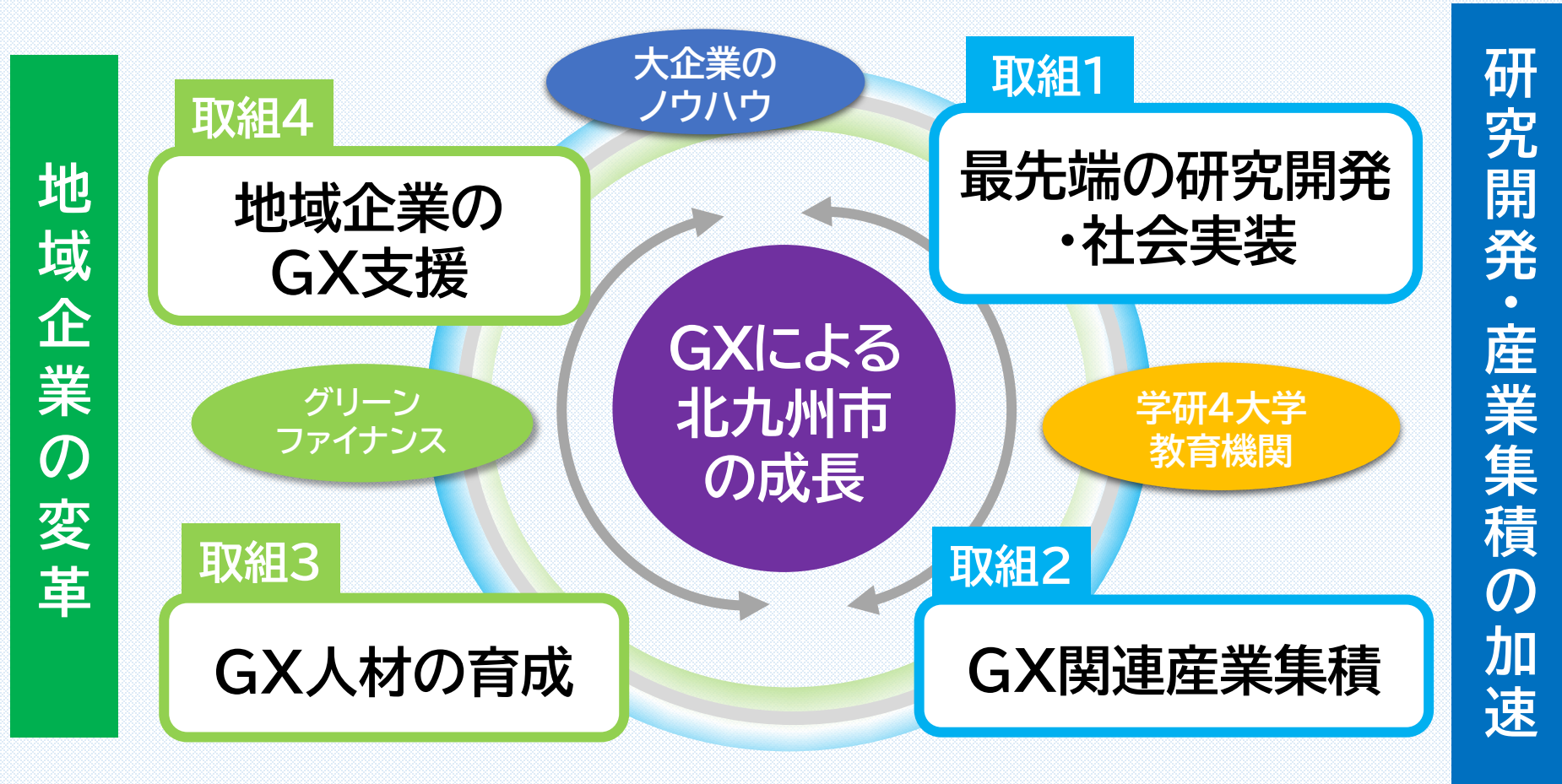


令和5年12月12日「北九州GX推進コンソーシアム」創設

北九州GX推進コンソーシアム

ポイント

- 環境系に強い学研の4大学の知見を結集し、研究開発、GX関連産業集積を加速
- 大企業も含めた産学官金のサポートにより地域企業の変革を支援



産学官金オール北九州による推進体制

多角的な取組の推進 !!

産学官金
「共創」の場

先端テーマ別研究部会設置

- 次世代燃料、蓄電池、カーボンサイクル・マテリアルなど

昨年12月
スタート

ワンストップ相談窓口開設

- 専門家による伴走支援を実施

全国初

GXビジネススクール開講

- 令和6年1月開講

国内最大
規模

地域企業のCO₂把握支援

- 可視化ツール提供2,000社

GXによる地域企業の変革をコンソーシアムが支援

先端テーマ別研究部会

政府が掲げるGX実現に向けた重点分野を視野に、産官学金共創によるプロジェクト創出につなげる部会を設置

次世代燃料・カーボンリサイクル部会

5月23日 キックオフセミナー開催

温室効果ガス算定部会

開催準備中

投資促進部会

開催準備中

部会は随時追加

自動車部会

7月中旬セミナー予定

半導体部会

8月上旬セミナー予定

未来共創部会

「宇宙」(5/17セミナー開催)、「学研都市脱炭素化」(5/31会合開催)、「建築物」(準備中)

新しい技術を社会実装につなげていく「共創」の場を形成

北九州GXエグゼクティブ・ビジネススクール

本邦初・経営者向けGXビジネススクールを北九州市で実施

カリキュラム

第1回	GXを捉え、外部対応への準備を整える
第2回	省エネ・再エネの促進
第3回	サプライチェーンを通じた脱炭素化
第4回	DXでGXを実現
第5回	GXを実現するためのビジネスモデル・手段
第6回	GX実現のためのアクションプラン



ビジネススクール
ワークショップ

- 経営層を対象にGXに向けたマインドセット講座を開催
- 講義形式とワークショップを毎回開催

実施時期：令和6年1月19日～3月1日（全6回）

受講者数：15社 27名

今年度は10月～全6回で開講予定

各社がアクションプランを作成、脱炭素経営の次のステージへ

地域企業のCO₂把握支援

企業のGXに向けた取り組みの第一歩は、CO₂を把握するところから・・・

北九州GX推進コンソーシアムでは
CO₂ 排出量可視化ツールを
無償提供

※ 希望する市内企業

23
社

現在のCO₂見える化ツール
利用企業数
(2024年5月中旬時点)

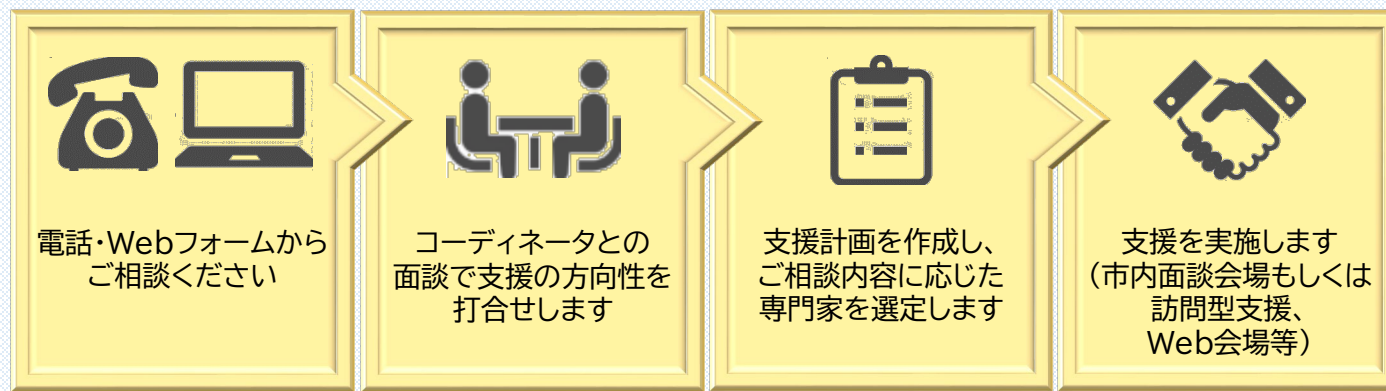


コンソーシアムがアカウントを付与
無償・無期限で使用できます

自社のCO₂を把握して、次のアクションへ

ワンストップ相談窓口・専門家派遣

グリーン成長を目指す企業の相談窓口を設け、 GXの知識・技術を有する「専門家」による伴走支援を実施



対象
北九州市内
企業

相談
無料

4回
まで

5月中旬時点で

12件

相談対応中

《ボードメンバー》：ワンストップ窓口の中心メンバー

- ・ FAIS、IGES、北九州高専、市、寶結(ワンストップ窓口受託業者)



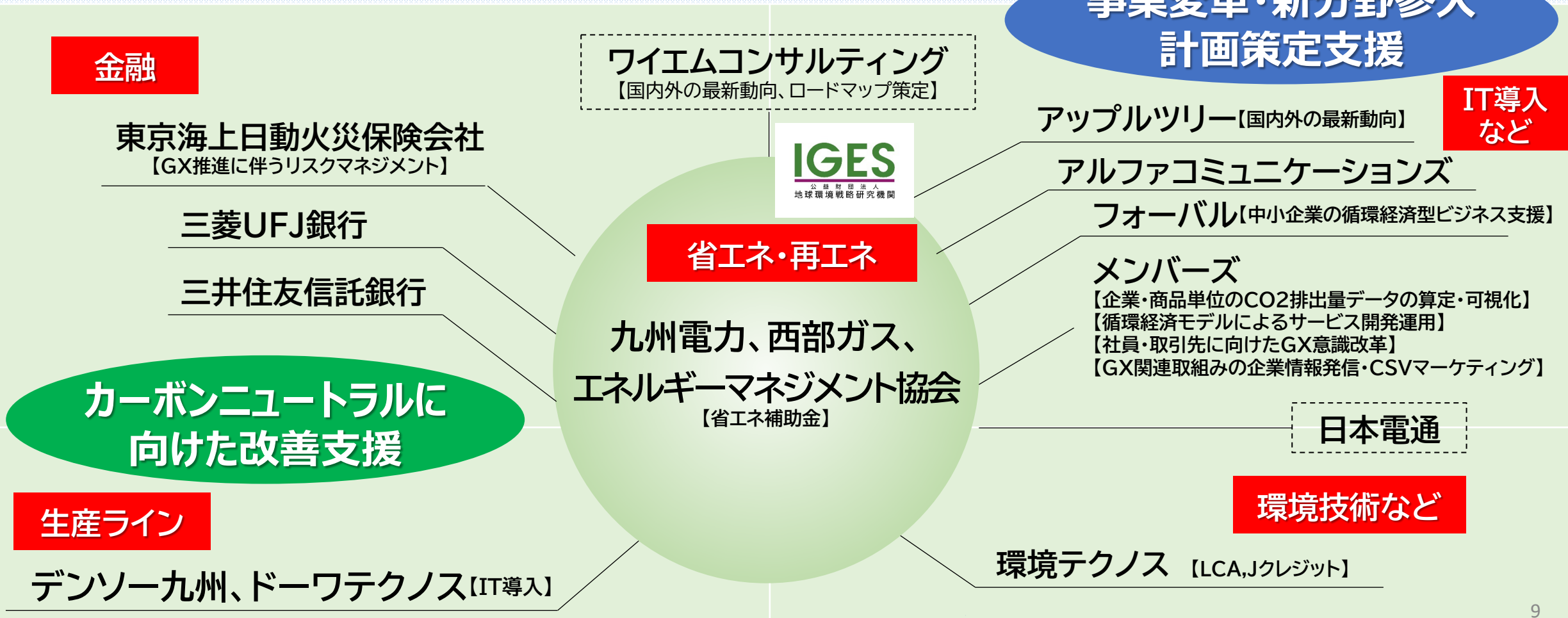
《専門家》：脱炭素の知見やノウハウを持つ企業群

- ・ 九州電力、西部ガス、IGES、環境テクノス、メンバーズ、フォーバル、ワイエムコンサルティング、デンソー九州、ドーワテクノス、三菱UFJフィナンシャルグループ、東京海上日動・・・

専門家による課題解決に向けた伴走支援

ワンストップ相談窓口・専門家派遣

登録専門家（R6.5月中旬現在）：**16社** ※随時追加中



すべてワンストップ
相談窓口で受け付け

地域企業の変革に向けたロードマップ

R5年度

R6年度

GX推進に向けた取組を産官学金一体となって総合的・多角的に推進！

セミナー・実践事例紹介

GXエグゼクティブ・
ビジネススクール

CO₂可視化ツール無償提供

ワンストップ相談
専門家による指導
・伴走支援

テーマ別部会設置

R6新規

グリーン成長関連の
事業化支援
(GX補助金等)

ビジネスモデル変革・
新ビジネス展開

10

ビジネスモデル変革・新ビジネス展開に向けて総合的に支援

北九州GX推進コンソーシアムのこれまでの成果



熱のカーボンニュートラルへ挑戦!!

IHI、日本IBMと熱マネジメント実証に着手
(R6年1月18日発表)

北九州市での生産活動再開は17年ぶり!!

AGCが水素製造関連製品の新プラント建設決定
(150億円、R6年1月30日発表)

全国3拠点の1つ!!

メンバーズが「地域脱炭素DXセンター」を開設
(R6年1月31日発表)



GXを推進し、北九州市を「稼げるまち」へ

北九州GX推進コンソーシアムからの大学への期待

北九州市の「知の拠点」「知の溶鉱炉」！

「学研都市発」のGX社会実装への協力・参画

(グリーン・イノベーション基金等国の資金を目指すのも一案→その上で持続性のあるビジネスへ)

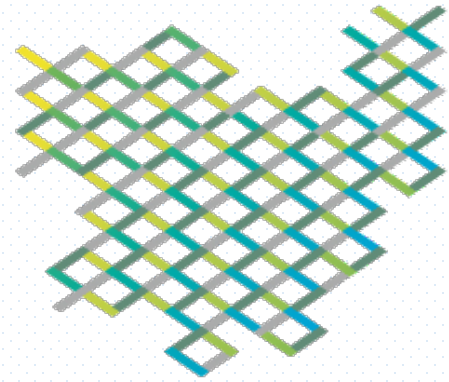
気候変動は若者へのインパクト大・学生は日本の一番の財産！

「GX人材育成」の推進(例えば連携大学院の応用?)

脱炭素化に向けては、文系・理系個別の対応ではなく総力戦が必要！

GX推進に向けた大学総合チームの形成

GXを推進し、北九州市を「稼げるまち」へ



KTQ-GX
Challenge 2050

**メンバーを
随時募集！**

北九州GX推進コンソーシアム
<https://ktq-gx.com/>

